

アメリカンフットボール部

「WILD GEESE」

創部以来初の一部リーグ昇格



監督 西部 尚矢

(総合H24)

■アメリカンフットボール部の歴史

九州工業大学アメリカンフットボール部は、1990年に設立されました。現在、九州学生アメリカンフットボール連盟には一部リーグに6校、二部リーグに7校、計13校が加盟していますが、当時は三部リーグ構成となっていました。1998年にはリーグ優勝を果たし、二部リーグへと昇格しております。しかしながら、その後は部員不足に悩ま

され、7人制でのリーグ参加をしていた年もあります。アメリカンフットボールは選手間の激しい衝突のあるコンタクトスポーツであり、オフエンス・ディフェンス・キック、

各々にチーム内でのチーム分けが行われるほど専門性の高い技術が求められる競技でもあります。そのため、部員の数そのままチームの力となる部分が多く、部員の勧誘が始まる時期には毎年その結果に一喜一憂しております。私が選手として入部していた頃も、リーグ参加に必要な人数を何とか超えている程度の部員数しかいなかったため、必死に体を鍛えて一試合乗り切れる体力とケガをしない体づくりに努めていた思い出があります。そのような中で、2010年前半に外部コーチを招き入れることができる機会がありました。社会人チームに所属していたその方から受けた刺激が、チームにとって大きな転機となったように思います。

チーム全体が今まで以上にひたむきになり、時間を切り詰め励んだ結果、2017年の秋リーグでは創部初となる一部リーグ昇格を果たすことができました。今日に至るまで多くのご声援をいただきました皆様への感謝とともに、今後も躍進を続けていきたいと思っております。

■OB・OGへのお願い

現在、我々のチームには確固とした後援会というものが存在していません。こちらの不手際で、連絡先を紛失してしまっている方も多くあります。毎年年末には連絡の取れるOB・OGの皆様には納会へのご参加をお願いしております。是非とも同級生へのお声掛けのうえ、納会へのご参加をお願い申し上げます。



集合写真



第27代主将 和才 圭太朗
(建環3年)

■ 4年間を振り返って

九州工大のアメリカンフットボール部は、創部以来一度も一部リーグに昇格したことがありませんでした。自分たち27代のメンバーが入部した年も、春シーズンはいくつかの試合で勝利を収めることができたものの、本番の秋シーズンは全敗で終わり、悔いの残る結果となりました。チーム全体にも何となく負け癖のようなものがついているようにも思え、あまり良い状態ではなかったように思います。そのような状態から2年目へ突入しました。

この年は多くの先輩方が卒部されたこともあって、大会にギリギリ出場できる15人という人数の非常に少ないチームになりました。アメフトは人数が多いチームがかなり有利となるスポーツなのですが、その差を埋めるために練習日数を増やし、体力を強化するメニューも増やすなど、人数が少ないなりに取り組める様々な工夫を行いました。その結果、秋のリーグ戦では全勝し、創部初の二部リーグ優勝、入れ替え戦への出場を果たしました。入れ替え戦では惜しくも1タツチダウン差で負けてしまいました。しかし、ギリギリの人数でシーズンを最後まで戦い結果を残すことができ、チーム全員が自信を持つことができました。

そして3年目。自分たちのチームは第25代から3回生がリーダーを務めるようになり、自分たちがチームを引っ張ることになりました。チーム目標は「一部リーグ昇格」。勧誘が成功し人数も30人ほどになり、質の高い練習もできるようになりました。そして迎えた秋のリーグ戦。自分たちは前シーズンで入れ替え戦に出場し、善戦したこともあり自信に満ちていました。しかし、初戦の佐賀大学戦で敗北。九州工大に対して徹底的に対策を行ってきた佐賀大学に対し、自分たちは油断し足元をすくわれることとなりました。結局そのシーズンは佐賀大学が入れ替え戦に出場し、九州工大は二部リーグ3位という結果に終わりました。

そしてついに最後の4年目。チームを変えたいという思いからあと1年リーダーを務めさせて欲しいと志願し、コーチ陣とのミーティングを経て2年連続でリーダーを任せてもらえることになりました。昨シーズンの反省を踏まえ、チームミーティングの質の向上や練習内容の見直し、フィジカル強化等、チームでの取り組み方を改めました。チーム目標は「昨シーズンと同じ「一部リーグ昇格」、今までのチームを徹底的に改革し新たなチームとなるべくチームスローガンは「Break Through」としました。そして迎えた秋シーズン。昨シーズンの反省を踏まえ、どのチームに対してもスカウティングやビデオミーティングを徹底的に行ったことで二部リーグで全勝優勝し、2年ぶりに入れ替え戦への出場を決めました。入れ替え戦直前の時期は、18時前にはグラウンドが真っ暗になってしまいうため本当に限られた時間しか練習することができません。限られた時間を有効に使えるように練習メニューを組み替え、また休日に質の高い練習を行えるようしっかりと計画を練りました。肉体的にも精神的にも厳しい期間でしたが、入れ替え戦では琉球大学との激戦を制し、勝利。ついに創部初の一部リーグ昇格を決めることができました。4年間数多くの困難にぶつかりましたがチームメイトと支え合い、スタッフの協力もありここまで到達することができました。本当に感謝しています。

(平成30年3月記)

